

認証基盤の要素技術及び先行事例の調査

データベース部門 上繁 義史

本学では、全学的な統一認証基盤の整備が道半ばの状況にあります。本センターでも、長崎大学において、どのような認証基盤が最適なのか、目下研究を進めているところです。その一環として、既に認証基盤をもつ大学や文部科学省の推進する認証基盤関係プロジェクトなど、先駆的な取り組みの事例について、シンポジウムや研究会に参加して調査しました。

認証基盤の要素技術及び先行事例に関連するシンポジウム、研究会等

| | | | |
|------|---|-----|------------------|
| 番号 | 1 | 開催日 | 平成 19 年 5 月 28 日 |
| 名称 | サーバ証明書発行・導入における啓発・評価研究プロジェクト第 2 回説明会 | | |
| 会場 | 国立情報学研究所 12 階会議室 (1208 会議室) | | |
| 主催 | 国立情報学研究所 学術情報ネットワーク運営・連携本部 認証作業部 | | |
| 参加者数 | 約 20 名 | | |
| 概要 | <p>本説明会は、国立情報学研究所が推進している「サーバ証明書発行・導入における啓発・評価研究プロジェクト」の一環として、SINET 加入機関を対象に開催されました。サーバ証明書の概要、同プロジェクトの概要と現状、サーバ証明書導入に関する手続きなどについて、説明が行われました。</p> <p>サーバ証明書：電子メールやドキュメントなどのデジタルデータが改ざんされていないことを証明するために必要なデジタルの証明書。機関単位でもつことができる。</p> | | |

| | | | |
|------|--|-----|------------------|
| 番号 | 2 | 開催日 | 平成 19 年 12 月 8 日 |
| 名称 | 統合認証シンポジウム | | |
| 会場 | 佐賀大学 理工学部 多目的セミナー室 | | |
| 主催 | 佐賀大学 総合情報基盤センター (共催：(株) NTT データ九州) | | |
| 参加者数 | 約 80 名 | | |
| 概要 | <p>各大学における情報システムの中でも特に認証システムの構築・運用について、特徴のある取り組みをしている大学 (広島大学、熊本大学、名古屋大学、大分大学) の情報系センター教員より、現状について紹介がありました。今回講演のあった大学では、認証の仕組みとして、ポータル Web 上での ID・パスワード認証が用いられているそうです。シングル・サイン・オンを用いた大学もあり、Web を活用した統合的な情報基盤の整備が進んでいることが明らかになりました。</p> | | |

| | |
|--|---|
| | シングル・サイン・オン ：1組のID・パスワードを用いて1回認証を行うことで、そのユーザの権限で利用可能なアプリケーションすべてにアクセスできる仕組み。アプリケーションごとに個別にログインせずに済むのが特徴。 |
|--|---|

| | | | |
|------|---|-----|-----------------|
| 番号 | 3 | 開催日 | 平成 20 年 1 月 9 日 |
| 名称 | グリッド・UPKI 活用のための CSI 講演会 | | |
| 会場 | 九州大学附属図書館 会議室 | | |
| 主催 | 国立情報学研究所 | | |
| 参加者数 | 約 40 名 | | |
| 概要 | <p>国立情報学研究所の最先端学術情報基盤（サイバー・サイエンス・インフラストラクチャ；CSI）の研究開発プロジェクト（UPKI と NAREGI）の取り組みの進捗状況について講演がありました。ほかに九州大学における全学共通認証基盤構築の取り組みや、大阪大学－東京工業大学連携による NAREGI グリッドミドルウェア導入及び連携について紹介が行われました。</p> <p>UPKI: 全国大学統合認証基盤のこと。各大学の持つ統合認証基盤を相互に接続することによって、どの大学にいても自身のユーザ ID（所属大学で発行されたもの）でネット環境にログインできるようになる。現在、研究開発途中。</p> <p>NAREGI: 全国大学のネット接続されたスパコンや計算サーバ、パーソナルコンピュータ群の計算能力を利用して、高度かつ膨大な科学技術計算を可能にするための、グリッドコンピューティングシステム。現在、プロセス管理などを行うミドルウェアの研究開発が進められている。</p> | | |